

4 香司という存在が豊かで繊細な香りを作り出します

淡路島は生産量日本一を誇る線香の一大産地です。江戸時代、江井地区(現淡路市)の商人が堺から職人と技術を持ち帰ったのが始まり。以来170年余り、線香作りが脈々と続けられてきました。線香メーカーには香司と呼ばれる人が存在します。調香から仕上げまで全工程において品質を管理。一切の妥協を許さない、香りをつかさどるマイスターです。近年は、兵庫県線香協同組合に所属するメーカーの香司がそれぞれの感性でプロデュースした香りをパッケージ化したシリーズを販売しています。江井地区に集うメーカーの中には線香作り体験ができる所も。豊かで繊細な香り漂うまちは、環境省の「かおり風景100選」にも認定されています。



アロマ感覚で楽しむ人も増えている淡路島の線香。

6 平安時代末期に開窯された「日本六古窯」の一つです



陶芸体験ができるスポットも。

平安時代末期の開窯とされ、800年以上にわたって受け継がれてきた「丹波焼」。瀬戸や常滑、信楽などと共に「日本六古窯」の一つに数えられ、産地である丹波篠山市今田地域には約60の窯元が連なります。伝統的な丹波焼は、登り窯で焼成する素朴で野趣あふれる生活用器が魅力。現在はモダンな作品も増え、色や形、手触りなど、窯元ごとに異なる作風が楽しめます。周辺には陶芸体験ができる丹波伝統工芸公園「立杭 陶の郷」や陶磁器をテーマとした兵庫陶芸美術館もあり、陶芸の魅力に浸れます。



県の重要有形民俗文化財に指定されている「最古の登窯」。

5 400年以上続く優れた技術により上質の金物が生まれています



市内には昔ながらの工房も残り、つち音を響かせています。

三木市が全国屈指の金物のまちとなったきっかけは、1578(天正6)年の羽柴秀吉による三木城攻めでした。焼け野原になった城下の復旧のために大工職人が各地から集まったことで、大工道具の製造が発展。長い時をかけて培われた技術は上質の金物を生み、のこぎり、のみ、かんな、こて、小刀は国の伝統的工芸品にも指定されています。道の駅「みき」には、市内の製造・卸業70数社の約2万アイテムがそろった「金物展示即売館」もあります。

県民の皆さんへの協力をお願い ～引き続き、感染対策の徹底を～

新型コロナウイルス感染症は、5月8日(日)に季節性インフルエンザ並みの5類感染症への変更が予定されていますが、自主的な感染対策が不要になるわけではありません。引き続き、基本的な感染対策の徹底や積極的なワクチン接種等にご協力をお願いします。(県新型コロナウイルス感染症対策本部)

体調不良時の外来受診について

- 重症化リスクの高い人(65歳以上の高齢者、基礎疾患のある人、妊婦など)や小学生以下の子どもは、まずかかりつけ医や発熱外来に相談してから受診しましょう。
- 症状が軽く、基礎疾患がないなど低リスクの人は、抗原検査キットによる自己検査や自主療養にご協力をお願いします。

症状が軽く
低リスクの人への
自己検査による
療養のお願い



医療機関の受診や抗原検査キットによる自己検査、無料検査所で陽性が判明した場合、重症化リスクの低い人は「県陽性者登録支援センター」に登録し、自宅療養をお願いします。詳しくは県ホームページで確認してください。

※神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、明石市の人は各市ホームページで確認してください

県陽性者登録
支援センターに
ついて



基本的な感染対策の継続と“もしも”に備えた準備

- 下記のような感染対策を改めて徹底し、特に人混みでの会話などによる感染リスクに注意してください。
 - ▶適切なマスク着用、手洗いや手指消毒
 - ▶効果的な換気(暖房中も継続的な換気)
 - ▶3密(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避
 - ▶ワクチンの積極的な接種
 - ▶十分な睡眠と栄養バランスの良い食事

※この情報は2月15日時点のものです。最新の情報は県ホームページで確認してください